

[獣医学教育の改善・充実に関する調査協力者会議(第5回)提出資料]

## NOSA I 団体の産業動物獣医師対策について

平成 24 年 10 月 22 日

NOSA I 全国

企画研修部 横尾 彰

### 1. 平成 24 年度の主な取組み

- (1) 平成 24 年 4 月 1 日現在の獣医師職員採用に係る調査を実施したが、採用は 89 名の募集に対し 86 名(うち女性 35 名)となった。

これら採用者を対象にアンケート調査を実施し、83 名(うち女性 35 名)から回答を得たが、調査結果から分かった主な内容は次のとおり。なお、調査結果については全国 16 獣医学系大学に送付した(図 1 参照)。

- (ア) 診療所での夏期実習、大学の講義や実習が有効であること。  
(イ) 進路の変更は 4 年生に多く、また、家畜共済・家畜診療という職務内容の周知が重要であること。  
(ウ) 今後の学生への対応としては、臨床実習、大学での講義・実習への協力、説明会の開催を引続き実施していくことが必要で、特に実習・講義等で低学年から参加できる機会を作っていくことが重要である。

また、本調査に合わせて各県募集案内の収集を行い、平成 25 年度農業共済団体獣医師採用予定について、全国 16 獣医学系大学に一括送付した。

- (2) 6 月 1 日に麻布大学、2 日に日本獣医生命科学大学において、農林水産省及び 17 連合会等の参加により「家畜共済事業に係る獣医師職員採用説明会」を開催し、現場獣医師の体験談等を含め家畜共済や診療所の説明を行うとともに、各県担当者による個別ブースでの説明を行った。参加学生は合計 123 名と過去最高となった。(参考: 22 年度は 114 名、23 年度は 109 名)

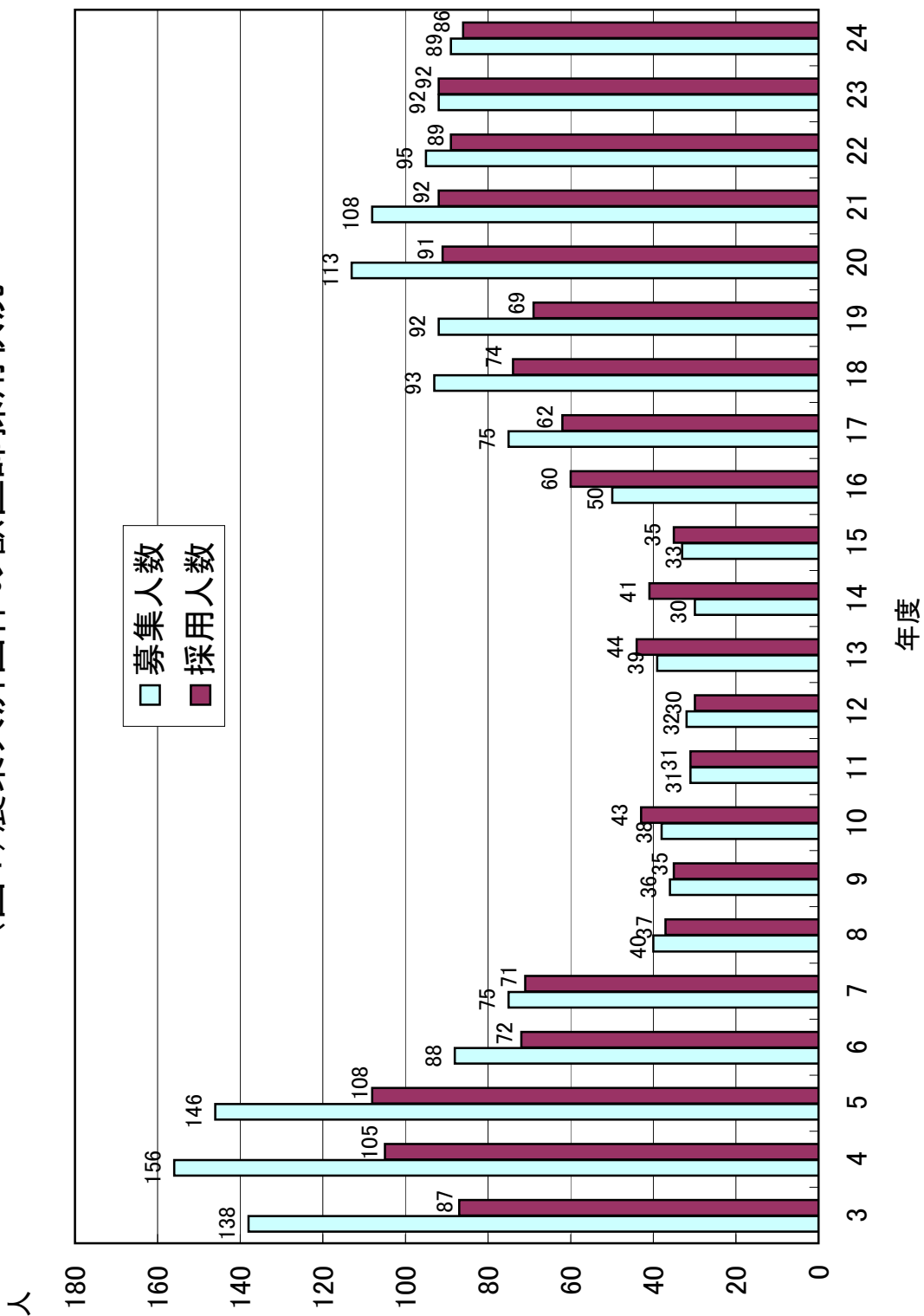
また、参加学生を対象にアンケート調査を実施したが、その調査結果(回答数 109 名、うち女性 70 名)の概要は次のとおり。

- (ア) 獣医系大学の志望動機は「動物が好き」が圧倒的に多く、入学時の希望進路についても、「小動物臨床」が半数を占めた。
- (イ) 現在の希望進路は、産業動物臨床に関心のある参加学生からの回答であるため、産業動物臨床が圧倒的に多かったが、産業動物臨床への主な変更理由は、「職務内容」「自分の適性」「将来性」などであった。
- (ウ) 家畜診療所での実習経験は、「実習経験あり」が半数を占め、臨床実習の感想については、「産業動物臨床をやってみたくなった。」「産業動物臨床に興味を持った。」など多くが好意的であった。
- (エ) 産業動物獣医師に対するイメージは、「社会貢献している」「やりがいあり」については高い評価であったが、「給与」「勤務体制」「住環境・生活環境」「研修体制」について悪いという回答が、5～14%あった。
- (3) 夏期臨床実習については、本年度より岐阜大学を全国 16 大学の窓口として受入れ連合会等へ申込むこととなったが、全国 34 府県 81 診療所の 164 名の受入体制の下で、実施した（別表参照）。
- （参考：22 年度は 25 県 51 診療所で 157 名、23 年度は 26 府県 56 診療所で 163 名を受入れ。）
- (4) 産業動物獣医師に関する獣医学系大学教官との懇談会については、6 月 19 日に東北地区（岩手大学、北里大学）、8 月 1 日に北海道地区（北海道大学、帯広畜産大学、酪農学園大学）、11 月 2 日に九州地区（宮崎大学、鹿児島大学）、11 月 15 日に中国・四国地区（鳥取大学、山口大学）ほか、他地区でも開催予定。
- (5) N O S A I 団体の獣医師採用情報については、N O S A I 全国ホームページにて、随時、25 年度に区分して閲覧可能としており、逐次更新予定。

## 2. 関係団体との連携

- (1) 10月6日、日本獣医師会が主催する「2012 動物感謝デー in JAPAN」に参加し、獣医系学生並びに一般消費者に対し産業動物獣医師及び家畜共済についてPRした。
- (2) 農林水産省の補助を受けて家畜衛生対策推進協議会(事務局:中央畜産会)並びに獣医療提供体制整備推進協議会(事務局:日本獣医師会)が実施する「獣医療提供体制整備推進総合対策事業」に引続き協力し、5月24日及び6月25日に本会職員を検討会委員として派遣した。また、23年度に引続き獣医療提供体制整備推進協議会に参加し、2月20~21日に家畜診療等技術全国研究集会を同事業の一部として実施する予定。
- (3) 23年度より農林水産省が直接実施することとなった獣医師養成確保修学資金貸与事業については、各県ごとに関係団体等が応募する形態となった。23年度新規申込み25名のうち24年度継続受給者は18名(うちNOSA I関係2名)、24年度新規申込みは22名(うちNOSA I関係2名)となっており、合計で40名が受給中である。なお、7月に24年度分の追加募集(若干名)が行われた。  
(参考:平成22年度まで申込みのあった中央畜産会事業分の24年度継続受給者は合計31名、うちNOSA I関係5名である。また、平成24年3月受給終了者9名中3名がNOSA I関係への就職者である。)

(図1) 農業共済団体の獣医師採用状況



<別表>

平成23年度 夏期臨床実習生受入実績

県名	受入診療所数	受入人数
1 青森県	1	2
2 岩手県	2	3
3 宮城県	1	3
4 山形県	2	20
5 福島県	1	1
6 群馬県	3	7
7 埼玉県	2	2
8 千葉県	7	27
9 神奈川県	1	3
10 山梨県	1	8
11 愛知県	2	5
12 滋賀県	2	7
13 京都府	1	2
14 兵庫県	4	23
15 奈良県	1	2
16 島根県	2	3
17 岡山県	3	5
18 広島県	2	3
19 山口県	1	1
20 香川県	2	4
21 佐賀県	2	2
22 長崎県	3	3
23 熊本県	2	3
24 宮崎県	4	15
25 鹿児島県	2	3
26 沖縄県	2	6
計	56	163

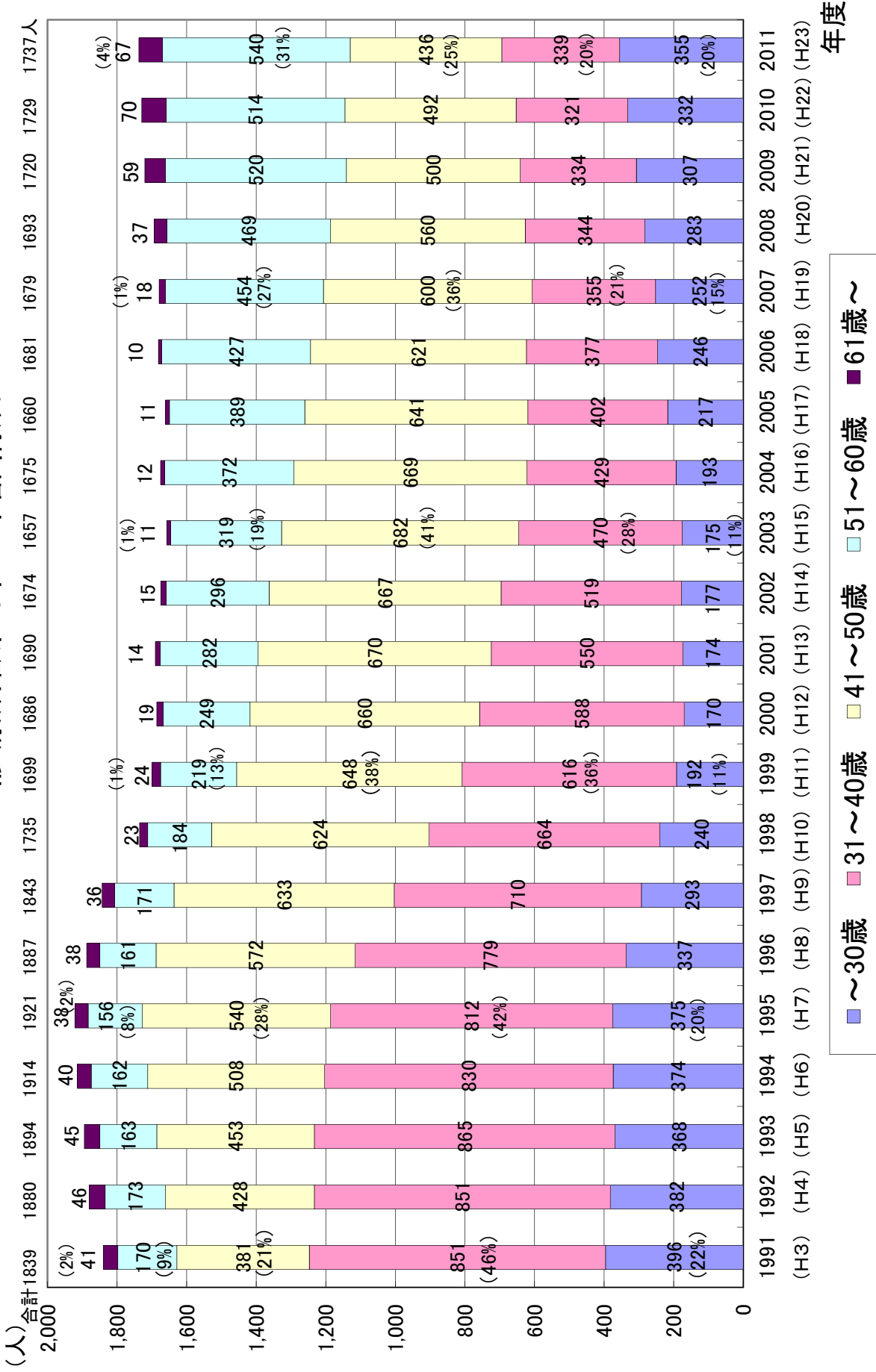
(注) 上記の他に北海道において夏期に47名の受入を行っており、冬期・春期にも70名を受け入れたとのことである。

平成24年度 夏期臨床実習生受入可能家畜診療所

県名	受入可能診療所数	受入可能人数
1 青森県	1	2
2 岩手県	7	9
3 宮城県	4	14
4 山形県	3	12
5 福島県	3	4
6 群馬県	2	5
7 埼玉県	1	1
8 千葉県	8	16
9 神奈川県	1	2
10 山梨県	1	5
11 新潟県	1	1
12 富山県	1	1
13 長野県	1	2
14 岐阜県	1	2
15 愛知県	1	1
16 三重県	1	1
17 滋賀県	2	5
18 京都府	2	2
19 兵庫県	5	14
20 奈良県	1	2
21 鳥取県	1	2
22 島根県	3	3
23 岡山県	4	5
24 広島県	4	4
25 山口県	1	1
26 香川県	2	4
27 福岡県	2	2
28 佐賀県	1	1
29 長崎県	2	4
30 熊本県	1	2
31 大分県	1	1
32 宮崎県	5	20
33 鹿児島県	4	9
34 沖縄県	3	5
計	81	164

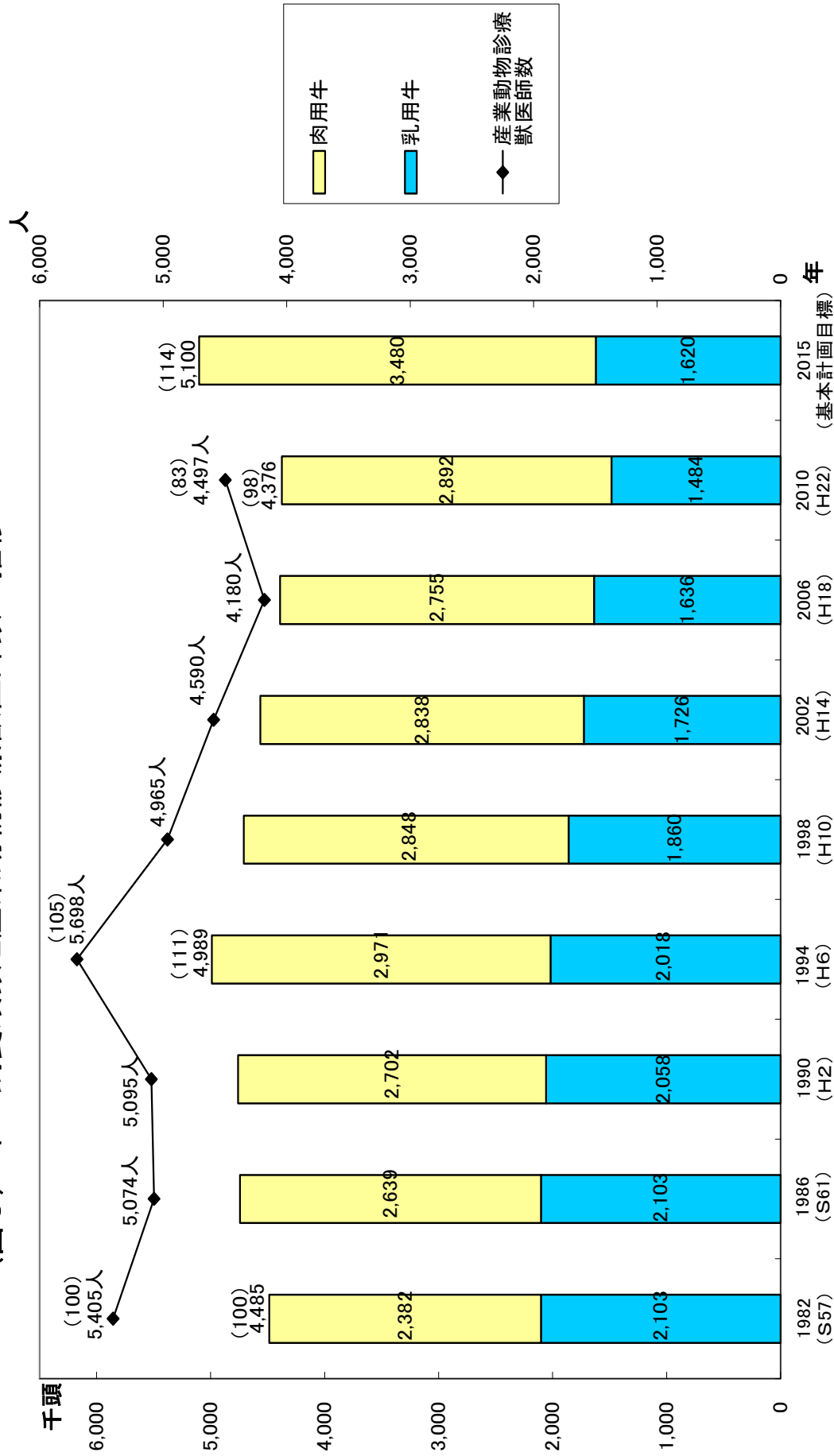
※若干名・数名受入は2名でカウント  
 (注) 上記の他に北海道において夏期に57名を受入予定

(図2) NOSAI診療所獣医師の年齢構成



( )内は当該年の各年齢層の構成割合であるが、ラウンドの関係で合計値が100%にならない場合がある。NOSAI診療所獣医師の年齢構成について、1991年と2011年を比較すると、51~60歳については、9%から31%、41~50歳については、21%から25%となっている。

(図3) 牛の飼養頭数と産業動物診療獣医師数の推移



このグラフは、農林水産省の畜産統計の牛の飼養頭数と産業動物診療獣医師数の比較である。  
 ( )内は1982年を100とした伸び率である。2015年は、食料・農業・農村基本計画の目標数字である。  
 1982年と2010年を比較すると、産業動物診療獣医師数が17%減少しているが、牛の飼養頭数の減少は2%である。

NOSAI職員が大学に向いて講義・実習を行っている事例

大学名	学年	教科名称等	組合・連合会名等	講義時間数(年間)
北海道大学	3～5年生	産業動物獣医師診療への理解醸成のための講習会	NOSAI日高	1時間10分
	1年	獣医学概論	釧路地区NOSAI	2時間
帯広畜産大学	5年	産業動物獣医師診療への理解醸成のための講習会	NOSAI山形	70分
	2年	家畜生産と獣医学	十勝NOSAI	2時間
岩手大学	5年	産業動物総合臨床実習	十勝NOSAI	3時間
	5～6年生	農業災害補償法と家畜共済制度	十勝NOSAI	2時間
東京大学	全学年	獣医学予備衛生学	釧路地区NOSAI	8時間
	2・5学年	岩手大学セミナー 大動物臨床	NOSAI宮城	1時間
東京農工大学	5年	大動物臨床学	NOSAI山形	4時間
	5年	大動物実習	ちばNOSAI連	年1回3時間
岐阜大学	2～6年生	産業動物獣医師診療への理解醸成のための講習会	NOSAI日高	3時間10分
	5年	大動物実習	ちばNOSAI連	年9回45時間
岐阜大学	5年	公衆衛生特別講義	NOSAI愛知県 家畜メ ディカルセンター	1回3時間
	4年	畜種別疾病講習会	NOSAI愛知県 家畜メ ディカルセンター	1時間
鳥取大学	4年	理解情勢講習会(臨床セミナー)	NOSAIぎふ	年1回1時間
	5年	臨床野外実習	NOSAI鳥取	1.5時間
山口大学	1・2年	獣医師入門	NOSAI鳥根	40分
	1年	コミュニケーション論	ちばNOSAI連	年1回8時間
宮崎大学	5年	乳房炎の臨床	NOSAI鳥根	1.5時間
	3年～6年	平成23年度畜種別疾病講習会	NOSAI岡山	2時間
鹿児島大学	5年	臨床繁殖講義	NOSAI山口 県西部	年1回1日3時間を3週間
	1年	獣医学概論	NOSAI連鹿兒島	1.5時間
鹿児島大学	1年	コミュニケーション論	ちばNOSAI連	年1回8時間
	5年	獣医師キャリア形成概論	NOSAI連鹿兒島	1.5時間
大阪府立大学	—	産業動物獣医師診療の現状と将来	NOSAI兵庫	年1回3時間
	5年	総合臨床学IX	石狩NOSAI	3時間
酪農学園大学	2年	獣医学概論	十勝NOSAI	1時間
	5年	総合臨床学IX	釧路地区NOSAI	2時間
北里大	3年生 希望学生	産業動物獣医師診療への理解醸成のための講習会	根室地区NOSAI	30分
	6年生	臨床栄養学	石狩NOSAI	6時間
日本獣医生命科学大学	1年	産業動物講習	NOSAI宮城	年1回1時間
	5年	大動物臨床	NOSAI宮城	1時間
日大	5年	大動物講習	NOSAI宮城	授業
	5年	畜種別疾病講習会	NOSAI山形	3時間
麻布大学	3年生	産業動物臨床の概要	NOSAI日高	1時間
	1年	獣医体験実習	NOSAI山形	4時間
麻布大学	5年	高度臨床獣医学演習	NOSAI山形	1.5時間
	5年	産業動物獣医師総合臨床	ちばNOSAI連	年1回90分
麻布大学	2年	牛の解剖実習	ちばNOSAI連	年3回6時間

クラス単位で診療所実習を受け入れている事例

北海道大学	5年生	産業動物臨床実習	十勝NOSAI	各1日間
帯広畜産大学	5年生	産業動物臨床実習	NOSAIオホーツク	7日間
	5年生	産業動物臨床実習	十勝NOSAI	各5日間
東京大学	5年生	臨床見学研修	NOSAI山形	4泊5日
	5年生	臨床獣医学実習	ちばNOSAI連	1泊2日を2回
東京農工大学	5年生	臨床獣医学実習	ちばNOSAI連	1泊2日を2回
	5年生	大動物臨床実習	NOSAIぎふ	1日
鳥取大学	5年生	臨床繁殖学実習(ホリクリ実習)	NOSAI鳥根	1日
	1・2年生	臨床繁殖学実習(ホリクリ実習)	NOSAI鳥根	40分
山口大学	6年生	獣医師入門	NOSAI山口 県西部	年1回4班各1日
	6年生	臨床繁殖実習	NOSAI山口 県西部	5日
鹿児島大学	6年生	総合臨床実習	NOSAI南薩・北薩・中部・曾於(2組合隔年)	5日
	5年生	応用獣医学実習	NOSAI兵庫	4泊5日
全国大学	3～6年生	応用獣医学実習	NOSAI兵庫	1～2週間
	5年生	応用獣医学実習	NOSAI宮城	12泊13日
日本獣医生命科学大学	5年生	獣医総合実習(臨床)	NOSAI山形	12泊13日